

		達成度調査等及び児童の学習状況から見た成果と課題 ○成果 ▲課題	
		3年	4年
結果の分析	国語	<p>○「話すこと・聞くこと」の達成率が98%である。</p> <p>▲「言語事項」の達成率は67%である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字の定着を図るため、定期的に小テストを行ったり、ドリル学習を計画的に行ったりしていく。また、言葉のきまりや新出漢字の短文作りの学習で国語辞典の活用を促して、辞書を利用する習慣をつける。 ICT機器を活用して絵や写真などの視覚的な資料を提示し意欲的に活動に取り組めるようにする。 	<p>○「読むこと」の達成率は86%である。</p> <p>▲話を最後まで聞くことや、話の要点を聞き取ることが課題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 話形の例を示し、根拠や理由を述べながら、筋道を立てて意見を言う習慣を付ける。 メモを取りながら聞く活動や、質問をしたり感想を述べたりする活動を定期的に取り入れ、聞く能力を高める。また、最後まで話が聞けるように指導する。 ICT機器を活用して教科書を提示して書き込むことで、読むときのポイントを示す。
	算数	<p>○「技能」の達成率は92%である。</p> <p>▲筋道を立てて考えを表現することには課題がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 図や式と言葉を関連付けて自分の考えを説明したり、互いの考えを伝え合ったりする活動を多く設定していく。 ICT機器を活用して図や表などの視覚的な資料を提示し、数量関係を適切に把握できるようにしていく。 	<p>○「技能」の達成率は80%である。</p> <p>▲問題文の意味を読み取り、筋道立てて立式したり考えたりする力に課題がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章問題の構造を捉え、重要な語句を抜き出したり、数直線や線分図等に視覚化したりして、問題を整理して考えられるようにする。 習熟度別学習を効果的に活用して、理解の苦手な児童がじっくり考えられるように、個に応じた指導をしていく。
	理科	<p>○「自然事象に対する知識・理解」の達成率は89%である。</p> <p>▲観察カードへの記入において、観察の視点を意識して取り組むことに課題がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が、自ら解決したいという意欲をもって実験や観察をしていけるよう、問題づくりの過程を重視する。 実験や観察などの具体的な体験を通して、自然の事物・現象について調べ、仮説・予想と比較しながら、実感を伴った理解を図っていく。 	<p>○「自然事象に対する知識・理解」の達成率は93%である。</p> <p>▲「科学的な思考・表現」の達成率が63%である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決型の授業を継続的に実施し、児童が学習の進め方を理解し、見通しをもって学習できるようにする。 友達と十分に話し合わせたり、協力したりして実験や観察に取り組ませる。友達の考えとの違いを考えたり、仮説と結果を比較検討したりするを通して、考えを深めさせる。結果から考察し、結論を導き出す過程を大切に指導していく。
<p>*達成率…金富小学校の各学年において目標値を上回った児童の人数割合(達成率=達成した人数÷受験者数)</p>			
調査以外の教科についての成果と課題	<p>○音楽では、歌唱活動に意欲的に取り組むことができるようになり音量も増してきている。</p> <p>▲一人では歌唱表現が苦手な児童がいる。範唱を聴いて、電子黒板を使いながら、歌詞や情景にそった映像を流し様々な楽曲を歌うことで、自らの感性や創造性を発揮し自分にとって価値ある歌唱表現を見つけ出すようにする。</p> <p>○図工では、全体的に関心意欲が高く、楽しんで取り組む児童が多い。</p> <p>▲技能面で個人差がある。ICT機器を活用し、道具の正しい使い方をおさえ、使う経験を増やして身につくよう個別指導する。</p> <p>○体育では、運動にすすんで取り組むことはできている。</p> <p>▲きまりを守ったり、互いに協力して活動したりすることに課題がある児童がいる。チームで話し合って簡単な作戦を考えたり、互いを認め合い、支え合いながらゲームを進めたりして、みんなで一緒に活動することを楽しむことができるようにしていく。</p>		